



# 坂東地域アグリ通信

令和5年9月 12日  
坂東地域農業改良普及センター 発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

## 境町甘藷生産組合現地研修会を開催しました

令和5年8月30日に境町甘藷組合現地研修会を開催し、生産者13名及び関係機関18名の合計31名が参加しました。甘藷生産組合は令和3年に結成された組合で、他品目からの転換としてカンショ栽培に取り組んでおり、今年で2作目となります。

研修会でははじめに、普及センターから本年度の現地試験の結果について説明しました。試験の担当農家からは、今作は前作に比べ生育が順調であること、今後はさらに栽培面積を増やしていきたいとの話をいただきました。

次に、各生産者が持ち寄ったカンショを見ながら、意見交換を行いました。いずれのカンショも肥大、品質ともに良好であり、栽培技術の向上が見られました。

その後、普及センターから栽培のポイント、農業総合センターから他地域のカンショ生育状況等について説明が行われました。参加した生産者は、積極的にウイルスフリー苗や中白障害である「シロタ」に関する質問をするなど有意義な研修会となりました。

普及センターでは、カンショの安定生産と品質向上に向け、引き続き関係機関と連携しながら支援していきます。



## 五霞農業塾が開催されました

令和5年8月19日にJA茨城むつみ五霞営農センターにて、五霞農業塾第5回「ハクサイの播種」を開催しました。五霞農業塾とは、JA茨城むつみ、五霞町役場、普及センターが協力して開催している講習会で、今年度で10年目の取組となります。道の駅五霞農産物直売所の出荷者育成を目的に、五霞町在住で農業に興味がある方を対象として、参加者の栽培知識・技術の習得にむけた支援を行っています。

今回の講習会には18名が参加しました。内容は、秋から冬に向けた作業としてハクサイの播種と先月の農業塾で播種をしたキャベツの定植作業を行いました。普及センターからは技術情報として栽培に関する資料を提供しました。

普及センターでは、今後も地域農業の発展のため、関係機関と協力して農業者の支援を行っていきます。



# シロイチモジヨトウによる被害が増えています

## 生態と被害

- ・幼虫の特徴として、胸部の側面に白線がある
- ・孵化した幼虫は集団で群生し食害するため、卵塊のあった葉を中心に被害が目立つ
- ・齢期が進むと分散し食害を行う。ネギでは葉身の内部にまで侵入し食害する。

※8月後半から9月にかけて発生が増加するので注意しましょう



ピーマンの被害株



シロイチモジヨトウの幼虫

## 《防除の際に注意すること》

- ・中齢以降になると薬剤の効果が低くなる  
→集団で生息する若齢幼虫の早期防除に努める
- ・結球する葉菜類では、結球内に幼虫が侵入すると防除困難  
→レタスやキャベツ等では結球始期前後の薬剤防除を徹底する
- ・施設栽培では開口部に防虫ネットを展張し、成虫の侵入を防ぐ

## 土壌診断を活用しましょう

### ●土壌診断の必要性

土壌養分の過不足や資材等の適切な投入量を知ることができ、農作物の品質や収量の安定・向上、施肥コストの削減につなげることができます。

### ●土の採取と測定項目

図のように、ほ場の中心と対角線上の4か所の計5か所から土を採取しましょう（表土を1～2cm程度取り除き、採取してください）。

もし、生育不良が見られる場合、「正常な場所」と「生育不良が起きている場所」の土は必ず区別して採取しましょう。

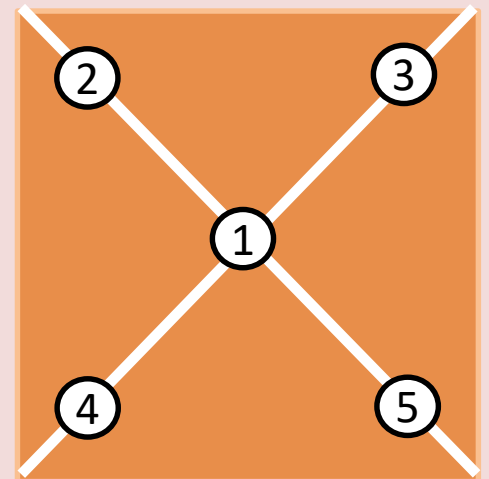
**測定項目**：pH、EC、石灰、苦土、カリ、リン酸

### ●診断結果について

結果は処方せんとしてお返しします。



★<普及センターでは無料で診断を行っています>



## 10月 土壌診断実施日のお知らせ

10月4日（水）、18日（水）の2回の予定です

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・**1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

## 編集後記

今年の夏は酷暑でしたが、最近は涼しく、過ごしやすい日々が続いていますね。秋といえば食欲の秋ですが、私は秋刀魚と栗があまり好きではないので、焼き芋を食べて秋を感じられたらと思います。（バティン）🍠☁️